

最新ニュースをお届けします！



No.200

### 今シーズンの営業を終了します

11月3日(祝)をもちまして、栗山公園は冬期休業します。たくさんの皆さんにご来園いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

最終日には、感謝の気持ちを込めて動物たちに餌やりができる「パクパクタイム」を無料で実施します。お時間のある方は、ぜひご参加ください。

●日時 11月3日(祝) 10:00～14:00

●場所 なかよし動物園

※お一人様1回限りの参加とさせていただきます。2回目以降は有料となります。

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706

指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】

★栗山公園公式ホームページ  
<http://t-daria.com/parktop>



### 【春までお休みします】

(来年4月29日(祝)オープン予定)

- ・なかよし動物園、栗山公園案内所
  - ・バーベキュー・キャンプサイト
  - ・かき氷&フードの店「ぼけっと」
  - ・KuriyamaParkShop、各種遊具
- ※「さわやかトイレ」は冬期間も使用できます。

No.28

## 栗山の農村女性の声を載せた「つくし」

栗山の産業の柱は農業でありながら、農村社会での女性の声は限られたものでした。今はそらち南農協と名が変わりましたが、栗山農協だった当時は、年に一回、農協婦人(女性)部の機関誌「つくし」が発行されていました。表紙には昭和43年の創刊以来、月号同じ土筆の絵が飾られ、編集の内容も「文芸誌であり、時代」を反映する農村婦人誌」と示されていました。時々の農政のこと、その年の作況、日々の生活の様子、詩や短歌・俳句などを集め、まとめられたものです。この間、農協婦人部が女性部と名を変え、懸案だった由仁農協との合併もあって、平成18年に終刊を迎えています。発刊から38年間、一貫して栗山の農業



昭和45年『つくし』第3号

を女性視線で声をくみ上げ、寄せたのが「つくし」でした。後半の号から始まった「つぶやき」の欄にはSNSではないものの、本音がにじむ今のツイッター(現X)を先取りしたものでした。改めてそこに「時代」を反映した、栗山の貴重な資料価値としての気づきがあったところです。終刊号の挨拶には「この『つくし』を自分史にしましょう」と、まとめられています。

## 町史の隠れ家

栗山の知られざる歴史、今ここに録る

町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

YouTubeで歴史コンテンツ公開中！



町史資料調査室 ☎ 76-7820



### No.1 日常はくつろぎの空間として



昨年4月にオープンした栗山煉瓦創庫くりふとですが、「まだ行ったことがない…」「何ができるところなの？」などのお声を耳にします。そこで、本コーナーでは不定期連載ですが施設について少しずつご紹介します！

今回ご紹介するのは施設内で一番広いスペース「多目的ホール」。イベントなどの貸し出しも行っていますが、普段は無料開放しています。全館Wi-Fi接続が可能で充電用コンセントもあり、休憩や飲食などで利用できます。平日の夕方以降は、勉強する中高生のほか、打ち合わせやボードゲームをするグループの姿も見られ、利用の幅が広がっています。雑誌や図書を自由に閲覧できるブックスタンドやカフェコーナー、プライベートスペースを確保するサイドパネルや観葉植物の設置など、居心地よい空間づくりに配慮しています。

【開館時間】10:00～14:00(月曜休館、変動あり)

【所在地】中央3丁目154-1(栗山駅南側)

【電話番号】栗山煉瓦創庫くりふと ☎ 76-9945



Web



Facebook



Instagram

No. 99

新しい力で栗山を元気に  
地域おこし  
協力隊です



空き家コーディネーター  
もり ひろあき  
森 大起 隊員



協力隊の活動は  
Facebookで発信中！

## 空き家の魅力ってなんだろう？

協力隊2年目、空き家アドバイザーの森です。

昨年度は栗山町内の空き家件数を把握するために、全戸調査をしました。町内の空き家を通り見た率直な感想は、「まだまだ住めるのにもったいない空き家が多い」です。

栗山に定住を希望し、物件を探している人が増えています。私もその一人です。もっと空き家が流通すれば町が活性化すること日々考えています。

そもそも私の思う空き家の魅力とは、何なのか？それは「前居住者の暮らしの足跡が見えること」です。

とある空き家の所有者さん

に、物件案内をしていただいた時のこと。敷地内には種類豊富な樹木や植物が植えられており、庭木の手入れが趣味だという話をお聞きしました。更地からこの景観を作るにはどれだけの年月が掛かるのだろうと、想像しただけで果てしないほど、作り込まれた空間でした。

中古物件は安いだけではなく、新築では得られない価値もたくさんあります。空き家所有者さんの思わぬところに価値を見出す人もきっといるでしょう。

「うちの空き家を見に来ないか？」と声をかけて頂ければ喜んで駆けつけます！